

## 【回答結果】

ア. 過年度の学部卒業生に対するアンケート調査結果

【調査結果】

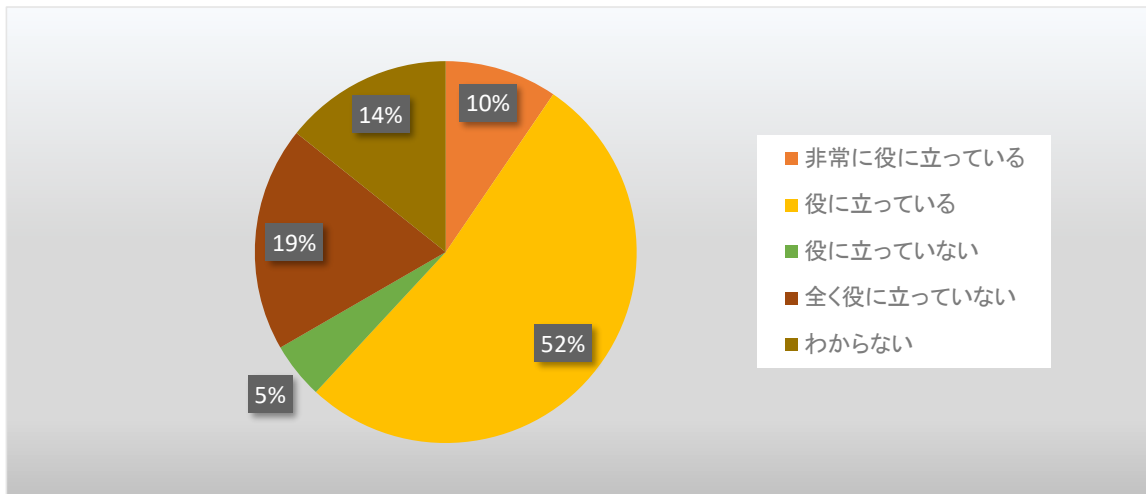
学部	対象人数	回答人数
獣医学部	103名	21名

1. 獣医学部の各学科のカリキュラム・ポリシーの内、キャリア教育には下記の方針がありますが、皆さんの就職先での業務に役に立っていると思われませんか。

(注) キャリア教育とは、単位取得のある正課内の講義・実習を指しています。

・獣医学科: 「キャリア教育として社会での実践的な獣医師の役割を体感する『学外実習』を提供し、社会的・職業的自立を目指す。」

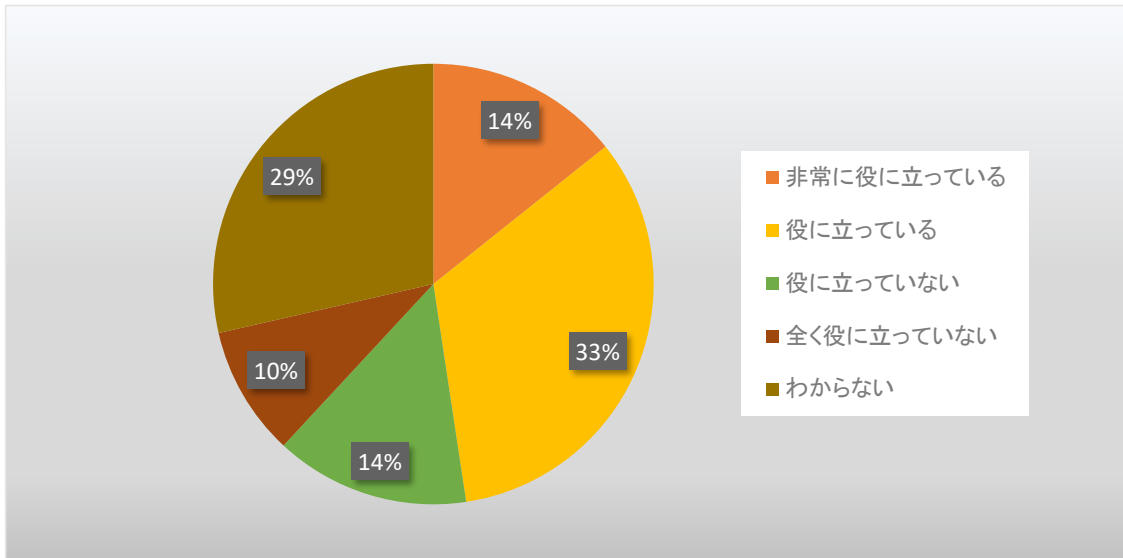
・獣医保健看護学科: 「キャリア教育として動物病院や動物園での実習の場を提供し、社会的・職業的自立を目指す。」



2.1. でそのように回答された理由を具体的にお書きください。

非常に役に立っている	実際の臨床現場の空気を感じられるから。 実習で得た人脈により就職に有利な情報や新たな人脈を得ることができたから
役に立っている	臨床現場や博物館などへ就職をしていないため、技術的な意味では役立てることはできていないが、大人が働いている現場で実習することで得られたものは多かったように思うし、「学ぶ」ということとしては満たされていたと思う。 卒業後では病院就職しないと体験できない裏側の事情や医療現場の現状を見ることができ、現場を意識した仕事に取り組むことができているため。(就活時の話題の一つとしても活用できました) 動物病院に就職したため、動物病院実習の経験が役に立ったから。 大学で学んだこと(特に研究室での経験)が今の業務に直結していると考えられるから。 いろいろ知れた 経験や知識がある方が、仕事上の発言において説得力がある。 調べるだけでは分からないこともあるため。 犬に関わる仕事をしているため。 業務の中で犬猫の検査等を行うため 就職先の業界が全く異なるため、直接的に役立つことは少ないが、実習を行っていなければ気づけないことがあったと思うからです。 自分がどういう場所で働くことを目指して勉強してるのか、実感することができるから。
役に立っていない	そのような制度を利用しなかった
全く役に立っていない	学外実習では動物病院を選択したが、就職先が研究職のため。 学外で行える実習は2年次の「学外実習」「動物心理学実習(※科目名不明瞭)」及び教職課程の「介護等体験」、「教育実習」しか設置されていなかった。学外実習はオーストラリア実習に参加したが、これら実習は教職課程を除けば野生動物を中心に取り扱いっており、小動物臨床、産業動物臨床、公務員と言った獣医師の実践的な役割を体感するものとは言えない。 動物病院勤務でないため。 あまり実践的な学外実習が行われたと感じないから。
わからない	全く関係のない職種に就いたから 自身が学生の際に実習へ行っていないため。 コロナの影響などで学外実習がかなり制限されてしまっていたため、学外実習自体体験出来ない部分が多いから。学外実習の機会が大学5～6年のうちに通常通り行われていれば結果は違ったと思う。

3. 本学のキャリア支援プログラムは就職先の業務に役に立っていると思われませんか。



4.3. でそのように回答された理由を具体的にお書きください。

非常に役に立っている	キャリア面談で相談したり、面接の練習をしていただいたおかげで本番に自信を持って挑めたため色々な質問をすることで、不安が解消されたり、第三者からの自分の性格や適性などがわかったように思う。 キャリアプランを考える練習をさせてもらった貴重な機会でした。
役に立っている	就活に関する講義を聞いたり、実際にキャリア支援センターの方と話して、何をすればいいかわからなかった就活を前に進めることが出来たから。 基本的には役に立っているが、病院によってやり方や物品の種類などが違うため。 就職した企業とは、大学で行われた合同説明会などで出会うことが出来たから。 キャリア支援プログラムで就職先を調べ、考えたうえで今の職を選んでいるから。 いろいろ見れたので 人と話すことで、自分の意見がより自分の中で確立したものになる場合もあるから。 公務員試験の際にキャリア支援センターの方々へ受験や勉強の相談をさせてもらったため
役に立っていない	キャリア支援プログラムを積極的に利用しなかったため。 独自に就職候補先を調べて対策をしたこと、就職候補先の企業が本校卒業生が在籍していない場合が多かったこと、以上2点によりあまり活躍していなかったため あまり利用しなかったかも。
全く役に立っていない	就職ガイダンスやキャリアカウンセリングは内定をもらうのに役に立ったが就職先の業務に役に立っているとはいえない 業務には役に立っていないと思う
わからない	キャリア支援プログラムにあまり参加しなかったから 自身が学生の際に利用していないため。 キャリア支援プログラムを利用していないため。 キャリア支援プログラムに参加していないため。 教授に就職先を教えてもらったので、あまり頼ってないため。 就職ガイダンス、カウンセリングがいつ行われたものを指すのか不明なため

5. その他、本学のキャリア教育・キャリア支援プログラムについてご意見があれば、下記の欄に自由にお書きください。

獣医学科に関しては、民間企業のOBOGとの交流会をぜひ行ってほしい。
動物園などのあまりメジャーでない就職先では過去問が少なく自力で集める必要があったため、キャリアなどで積極的に卒業生から募集して欲しかったです。
特にありません。
とくになし
マイナーな職業も教えてもらえるとありがたい。

## 【回答結果】

ア.過年度の学部卒業生に対するアンケート調査結果

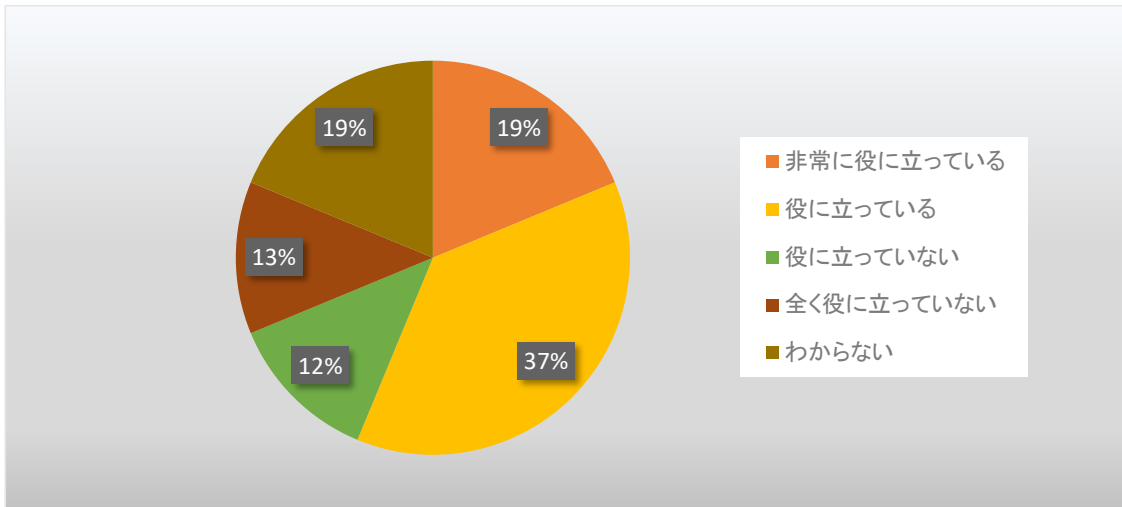
【調査結果】

学部	対象人数	回答人数
応用生命科学部	88名	16名

1.応用生命科学部の各学科のカリキュラム・ポリシーの内、キャリア教育には下記の方針がありますが、皆さんの就職先での業務に役に立っていると思われませんか。

(注)キャリア教育とは、単位取得のある正課内の講義・実習を指しています。

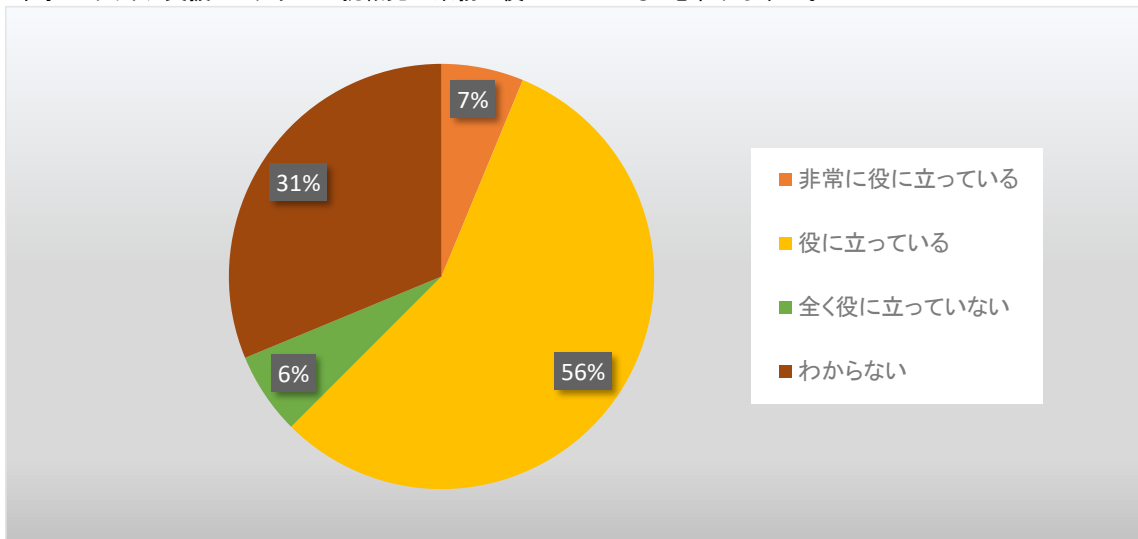
- ・動物科学科:「学外の各分野講師や社会の第一線で活躍している本学科卒業生を招聘した『キャリア形成支援講座』を開講することにより、多様なキャリア教育を展開する。」
- ・食品科学科:「工場見学や食のスペシャリストによる特別講義を行うことにより、学生の志向形成を固めるようキャリア教育を展開する。」



2.1.でそのように回答された理由を具体的にお書きください。

非常に役に立っている	大学に入る利点の一つと考えている「進路の選択肢を増やすことができる」という部分において、各分野の卒業生に話を聞くということは自分の進路選択において大きな糧になると考えているから。 キャリアを考えるきっかけになったため。 授業だけではわからない業界内の話を聞けるため
役に立っている	特別講義を通して、様々な食品関係の仕事について理解を深めることができたから 畜産系の業種の中で、総合的な知識が求められる職種の場合、学科外で学んだことが活かされる機会があるため。 そんな気がします 仕事中、大学で見聞きしたことだと感じることもあるからです。 自社の業界だけに関わらず、その前後に付随する業界についても学ぶことができるため、先を意識して業務に取り組むことができるから。 様々な業界で働いてる方から話を聞くことができ、就職の方向性を考える上で参考になったため。
役に立っていない	実際の業務と受講した内容はあまり一致していないからです。 営業職のため特別な専門知識が必要で無い
全く役に立っていない	専門職に就いてないから 全く違う業種で働いているから

3. 本学のキャリア支援プログラムは就職先の業務に役に立っていると思われませんか。



4.3. でそのように回答された理由を具体的にお書きください。

非常に役に立っている	キャリアを考えるきっかけになったため。
役に立っている	自分自身で進路選択をしようとしても、分からないことが多く、1人では不安になり考え込んでしまいがちになるので、そういった不安や悩みを解決できるのは良いと思ったから。
	履歴書の書き方から面接対策までしていただき、就職活動にスムーズに入ることができたから就職ガイダンス等から、現在の職種で活かす機会があったため。
	人とキャリア面談のフィードバックより、人の調整をすることが得意であることに気づきました。実際の業務でも調整をして人の間に入ることが多いので、役に立っていると思います。
	卒業生が会社紹介に来ていたため
	エントリーシートを記入する際に面談をしていただいたが、そこで話したことや一緒に考えてくださった志望動機などが今の仕事への取り組む姿勢につながっていると思うからです。
	一般的な社会人としてのマナーなどが身につくため。
	就活の際、推薦などでお世話になったため
全く役に立っていない	2に同じ
わからない	新卒で入社した会社は分野外の会社であったためあまり役には立たなかった。しかしながら、分野内の職業であれば役に立つと思う。
	あんまり受けていないので
	そもそも学校の支援があったか覚えてない。外部講師として会社から講談はあったが正直それを書いたからと言って就活に有利になることはないと思う。結局その会社次第だから。またその外部講師の会社を受けた人もいたが特段有利になったという話も聞いたことがない。
	先の理由と同じです。 あまり利用していないから

5. その他、本学のキャリア教育・キャリア支援プログラムについてご意見があれば、下記の欄に自由にお書きください。

obとして大学に伺い、就職先について学生に教える機会があれば良いと思う。
業務の話聞いて、そこで働く人と同じレベルで仕事の雰囲気理解するのは難しいと感じました。
キャリア支援プログラムについて、志望動機や学チカのまとめ方(どういう順序で書けばよいか、質問の意図など)を具体的に全体に説明するといいいのではないかと思います。ただ単に、エントリーシートの記入方法を説明するのではなく。
3年次の北海道研修では牧場の見学があったが、もう少し一次産業について学ぶことができるカリキュラムがあればよかったなと感じた。
授業や実習で学んだことは時間が立つと忘れてしまいます。その時はもらった教材をみながら復習してます。また現場での仕事では授業や実習よりも踏み込んだものとなっています。今私のいる職場だけかもしれませんが牛につけるモクシのつけかたや注射の打ち方も大学で扱った方がいいかもしれません。